次期「杜の都環境プラン」における重点的な取り組みのイメージ

【仙台の強み】

- ■豊かな森林や里地里山、市街地のみどり、海、源流から下流まで包含する河川など、 多様な自然環境を有しており、それらがつながっている
- ■大都市でありながら自然に恵まれ、都市と自然のバランスがとれている
- ■市民団体や大学、事業者など、環境づくりに関わる活動経験や専門性を持った**多様な 主体が存在し、市民協働により環境課題に取り組んでいる**

山側

まち

海側

▶ 原生的な森林などの豊かな生態系

- 自然環境が保全された国定公園や 県立自然公園等
- CO₂吸収、土砂災害防止、農作物や木材の供給等、多様な機能を有する里地里山
 - ▶ 広瀬川や七北田川などの親水空間
- ▶ 公園や街路樹など、市民に安らぎを与える緑
- ▶ 快適な生活環境の確保が求められる住宅地
- 都心部における建築物の老朽化、都心再構築 に向けた動き
- ▼干潟や砂浜など多様な生物が生育・生息する自然環境
- ★ 食料生産や保水機能等を有する農地の 広がり
 - ▶ 海洋プラスチックごみ問題

▶ 本市の水資源を支える水源地

- ▶ 開発による森林や農地への影響
- ▶ 野生鳥獣による農作物被害等への対策
- ▶地域に根差した歴史や文化
- ▶ 人口や産業が集中
- ▶地下鉄を軸として都市機能が集積
- エネルギー消費の削減、廃棄物排出の抑制
- ★学生や留学生、転勤者など短期間の居住者が多い
- ▶ 仙台港を中心とした産業・物流機能
- 海岸公園などの自然との触れ合いの場や、貞山堀、 震災遺構などの文化的資源
- ▶ 地域に根差した歴史や文化
- > メモリアル交流館等を拠点とした市民活動の活性化

【今後の方向性】

- ◆仙台ならではの、環境にやさしいライフスタイル・ビジネススタイルの定着
- ◆資源の活用と市域内での循環
- ◆仙台を起点とした環境価値の創造・発信

目指す環境都市像

- ☆「全ての主体が環境のことを考え、行動するまち」を目指します
- ☆「『杜の都』の資源が活用され、循環するまち」を目指します
- ☆「環境への取り組みが新たな価値を生み、成長を促すまち」を目指します

<重点的な取り組みのイメージ(たたき台)>

グリーン&クリーン都市プロジェクト

都心部を中心として、企業や都心を訪れる市民等の環境配慮行動を促進しながら、経済の活性化や賑わい創出を図り、環境価値を高め、環境にやさしい魅力的な都市として発信

【取り組みイメージ】

- ◆新本庁舎を含め、都心部の老朽建築物の更新機会をとらえ、杜の都にふさわしい グリーンビルディングなどの環境に配慮した建築物の整備を促進
- ◆事業者と連携したワンウェイプラスチックの削減や、地域の木材・農作物等の 利用の推進
- ◆温室効果ガス削減アクションプログラム等を通じた、事業者の環境投資の促進
- ◆みどりを活用した、歩いて移動したくなる魅力的な都市空間の創出

エネルギー循環プロジェクト

自然の恵みを再生可能エネルギーとして活用するなど、エネルギーの地産 地消や地域資源の循環の仕組みを構築

【取り組みイメージ】

- ◆森林整備による間伐材や街路樹の剪定枝などの木質バイオマスを、再生可能 エネルギーとして活用
- 持続可能な木材利用の促進等により、多様な機能を有する里地里山の保全・管理を推進
- ◆事業活動や市民生活における、太陽光発電等の再生可能エネルギーや熱エネルギーの 有効活用を促進
- ◆生ごみなどの廃棄物系バイオマスについて、発電や堆肥化等により資源循環を推進

エコロジー体感プロジェクト

多様な自然環境や専門性を持った様々な主体の力を活かし、楽しみながら 五感で学べるコンテンツを発掘・発信することにより、環境配慮行動の輪を 広げる

【取り組みイメージ】

- ◆里地里山や沿岸部の自然、食、文化などの地域資源を活かした体験型エコツアー の推進
- ◆みどりの空間の活用や、生物多様性と音楽・アートなどの組み合わせによる、 にぎわい創出
- ◆市内各地において、様々な主体と連携した体験型の市民講座の開催や、環境学習の機会を提供